

## 本時のねらい

- 学習内容を生かして、英語で有名人を紹介するポスターを作成し、発表する。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- アプリケーションのテンプレート機能を用いて、作業時間の短縮を図る。
- アプリケーションの機能を用いて自分の考えを即時共有することで、意見の交流を活性化する。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- Chromecast
- Google Classroom
- Canva
- 電子黒板

## 本時で育む主な情報活用能力

D-STEP4, K-STEP4

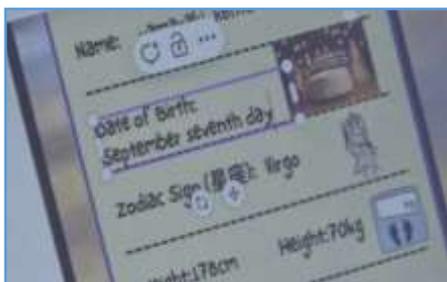
該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあてを確認する。 「有名人を紹介する発表の準備をしよう。」</li> <li>○Canvaで前時までに作成したポスターや発表原稿に、既習事項の単語や文法が使われているかを再確認する。</li> <li>○発音等、発表に向けて練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に授業の流れや資料を提示する。</li> <li>・生徒には、同じ資料を端末で共有する。</li> </ul>
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポスターの記述内容を確認する。 【写真1】</li> <li>○発表の練習をし、授業者を確認してもらう。 【写真2】</li> <li>○実際に発表の練習を行い、聞き手は発表者にCanvaを用いて、発表に対するコメントを入力する。 【写真3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの翻訳機能を用いた英文を発表用ポスターに記載したり、そのまま発表原稿にコピーする生徒に対し、自分たちが今まで学習した、もしくは知っている英単語や文法を使うよう指示する。</li> <li>・発音が分からない場合は、Google等の英語発声アプリを用いて、発音を確認させる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次回の授業で取り組む活動の確認をする。</li> </ul>	

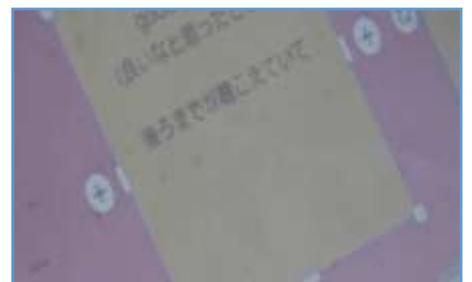
## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】生徒の作成したポスターのデータ



【写真2】授業者に発表内容を確認してもらう生徒の様子



【写真3】発表中の班にコメントを打ち込んでいる様子

## 児童生徒の反応や変容

- 英語に苦手意識を持つ生徒も、Canvaを使用して自分の好きな有名人を紹介するという活動がモチベーションになり、積極的に調べ学習を進めたり、英作文に取り組み始めた。
- 英語の得意な生徒が他の生徒の英作文を支援したり、発音のチェックをするなど、各々が主体的に課題に取り組んでいた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- Canvaを用いることで、短時間で見ごたえのあるポスターを作成することができた。テンプレートが多くて授業での活用が難しいという声もあるが、何を取捨選択するのかを考え、情報活用能力を高める点でも、生徒が複数のアプリケーションにアクセスできる状況を作っていきたい。